

西松の明日のために、 私たちができること。

2012年5月18日、「西松の明日に、なにを見るか。」をテーマに当社の西日本支社中堅社員にてステークホルダーダイアログを開催し、意見交換を行いました。



西松建設の“これから”について語り合いたい
福島 私は2011年の西松建設のCSRレポートを拝見しましたが、やはり不祥事に対する反省がレポートの核であったように思います。2012年はそれを越えて、新たなステージに向かう西松建設のリアルな姿を知りたいと思っています。そこで西松建設の中核を担う社員の皆さんの声をお聞かせいただきたいと思います。まずは不祥事以降のご自身の思いをうかがいましょう。



ファシリテーター

(株)サステナビリティ会計事務所 代表取締役
福島 隆史 様

あの時期があったから、
私たちのスタイルは変わった

佐藤 私は営業を担当しています。不祥事後は契約直前の工事などに影響もあり、受注は激減しました。モノをつくって納めるのが私たちの仕事。しかし前段に必ず「建設業者の選定」というステップがあります。どれほど

「信用」が大切であるかを思い知らされました。

齊木 私は建築を担当しています。仕事が減り、一時待機となった技術系社員もいましたが、その時に全社的な基準を作成できたことで、品質向上への足固めの時期になったと思います。

松嶋 私は設計を担当しています。お客様に新規のご提案をするとき、やはり過去のことが常に意識にあります。そしていつでも襟を正した気持ちで取り組んでいます。

佐藤 あの時期があったから、西松のスタイルが変わったと思いますね。

齊木 コンプライアンスに対して一切の妥協がなくなったということです。仕事にはさまざまな法律が絡みますが、微妙なところも絶対を守ろう、コンプライアンスを優先しようという意識が強まりました。

これからの西松のために、
私たちが考えていること

福島 西松建設のこれからに対して何か意見がありますか。

受け継いだ伝統と日々の経験のうえにいまの自分がある。



西日本支社 設備課 松嶋 篤



西日本支社 総務課 長山 奈美



西日本支社 土木課 宮宇地 信二



西日本支社 阿倍野建築出張所 齊木 健次

品質向上への足固めとした日々が、いま、生かされている。

“西松の技術”を伝承する技術者の育成を。

西松の明日も、私の明日も、二日目の積み重ねだから。

山内 真っ先に思うのは人材の確保です。これからますます仕事を獲得していかねばなりません。私は土木を担当していますが、現場に携わる人間には現場での一定期間の学びが必要です。品質の低下につながらないように早急な対策が必要だと思います。

宮宇地 早期退職により技術者が減ったことで、応札が厳しくなっています。経験者がいないと応札できません。技術者の育成はもちろん“西松の技術”の伝承が必要だと思います。

首藤 中部支店で事務を担当しています。人材の確保とともに社員の定着率を高めるため、いかに魅力的な会社にするかが大事だと思います。中部支店では、横断歩道で旗を持ったり、駅前清掃をしたり、コツコツと社会貢献活動に取り組んでいます。社員にとって魅力ある会社であるためには、このような地道な積み重ねが大切ではないでしょうか。



西松で働く誇り・プライドとは何か

福島 皆さんにとって、西松建設で働く“誇り”とは何でしょうか。“これが西松の強みだ”ということもあれば合わせてお願いします。

首藤 風通しの良さです。西松の未来は明るいと感じます。それが私の拠りどころです。

松嶋 一丸となれることです。大きすぎない規模の西松ならではの強みだと思います。

佐藤 西松の歴史と技術の伝承の重みです。西松の社員としてその継承にプライドを持って取り組んでいきたいです。

長山 やっぱりチームワークの良さでしょうか。社員同士が本当に仲が良いと私は感じています。

山内 良いモノをつくるということ。与えられた仕事への対応力です。あとはいまも伝統的な技術を守って、若い人もその技術を持っているということ。当然のことのようですが、これからの時代、それはとても難しいことですから。

宮宇地 品質。単なる技術や現場の勘だけでなく確かな裏づけがあることです。

山田 お客様の声です。あと地図上で自分たちの仕事の成果を見ることができること、社会のインフラを手がけているということ。建設業としてのCSRは、事業を通じての社会貢献にあるのではないのでしょうか。

齊木 先輩たちが培って来た伝統と実績ですね。現場に行くと“西松の技術はすごい”と、自分の会社ながら感心してしまうことがある。私たちはこれを伝承していかなければなりません。それが当たり前ができる会社だということを私は誇りに思います。

福島 西松建設の明日は、皆さんの一日一日の積み重ねにあるのですね。どうかこれからも頑張ってください。

西日本支社 積算課 山田 智也



利益だけでなく、コンプライアンスという判断基準が生まれた。

西日本支社 土木課 山内 昌昭



お客様の信頼を得るまでの過程を大事にしていきたい。

西日本支社 営業2課(関西 営業部) 佐藤 尚宏



“モノをつくる”という原点に戻って、足元を固めていく。

西日本支社 中部 事務課 首藤 洋平



社会に対しての責任が常に胸にある。二度と信頼を失ってはいけない。